

# 動物サポーターの支援者様へ わたしたちのエサを1年間 支援してくれてありがとう



育ち盛りなので  
おながいっばいいただきました



食事ダイエット  
したくなかった  
ので助かりました。  
お風呂で  
がんばっています。

**動物サポーターに3,536件 38,457,594円の支援が寄せられました。**

うち法人・団体サポーター37件21,187,994円。(平成14年1月～平成15年3月31日現在)

平成14年度の動物のエサ代等として17,493,101円使用し、残りの20,964,493円は、積み立てて平成15年度の動物のエサ代として役立てたいと考えています。

## 動物のエサ代 約1570万円支出

約90種440頭の1年間のエサ代です。主なものは、



**ゾウ2頭**で1日で主に乾草40kg、青草8束、笹15kg、ペレット(固形飼料)16kg、ヘイキューブ(干草固形飼料)10kgで **年間約400万円**。



**チンパンジー6頭**で1日で主にキャベツ3kg、サツマイモ4kg、ニンジン4kg、バナナ3.5kg、リンゴ2kg、オレンジ2kgで **年間約200万円**。



**ニホンザル40頭**で1日で主にキャベツ5kg、サツマイモ4kg、ニンジン4kg、バナナ3kg、リンゴ3kg、オレンジ3kgで **年間約200万円**。



**ライオン3頭**で1日で主に丸鶏6kg、牛レバー1kg、馬肉2kgで **年間約150万円**。



**トラ2頭**で1日で主に丸鶏4kg、牛レバー1kg、馬肉1kgで **年間約100万円**。



**キリン1頭**で1日で主に木の枝2kg、カトルーサン(干し草を切ったもの)3kg、圧ベントウモロコシ(フレーク状のトウモロコシ)5kg、ペレット(固形飼料)3kgで **年間約100万円**。

その他、ゾウやレッサーパンダのために竹を定期的に提供いただいたり、米などの穀類や新鮮な野菜・果物を提供いただきました。また、飼育スタッフとボランティアによるエサとり(新鮮な野草や雑草を刈りエサとして使用)で当初かかると考えられていたエサ代約2500万円を節約することができました。開園前にカバ(年間600万円のエサ代)が死んでしまったこともありますが…。

このような動物サポーターによるみなさんの支援により経営に左右されない、動物たちに安定したエサの提供ができています。

## 動物の薬代 約120万円支出

当園の動物たちの健康を守るための薬等を購入し、園内の動物の健康管理や治療、検査などで使用しました。



エサ量  
きめて

体重  
はかって



おやつまで  
いただきました

## 会員への情報郵送料 約52万円支出

クラブネットに登録していない方に年2～3回園情報を郵送しています。サポーターズニュース発行費用と園情報、収支報告書をおくる費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきます。

## 動物サポーター刻銘版 約3万円支出

法人・団体動物サポーターの法人・団体名を園内に掲示するための刻銘版追加作成費用です。

# 動物友の会の会員様へ 1年間 わたしたちの環境を支えてくれて ありがとう



この緑も土壌も水場も  
手入れしてくれてるから  
いつも気持ちいいね。



いつも  
きれいな  
水場で  
遊びたい!!  
こんな願いを  
かなえて  
くれました。

**動物友の会に4,645件 17,994,000円の支援が寄せられました。**  
(平成14年1月～平成15年3月31日現在)  
平成14年度の動物を中心とした動物園事業に17,994,000円全額を使用させていただきました。動物たちへの優しい環境維持に役立っています。

## 主に使用した動物園事業

### 獣舎の光熱水費 約1270万円支出

園でかかる光熱水費は約3000万円です。  
電気代770万円のうち約360万円が動物獣舎関係の経費です。動物の健康状態を維持するために照明はもちろん空調や床暖房、ヒーターや流水のためのポンプ類などで使用されています。動物を飼育するために必要な経費です。  
水道代2230万円のうち約910万円が動物獣舎関係の経費です。ゾウ、トラのプールやフラミンゴ、アヒル、タンチョウ、バードケージの池、アライグマ、チンパンジー等サル類の流水の維持に使用しています。その他の多くは、獣舎清掃などに使用しています。獣舎清掃は、毎日かなり多くの水を使用しますが、当園では新幹線の湧水をポンプで汲み上げて使っており、通常の上水使用よりも節約されています。



スタッフの想い  
子知らず

### 獣舎の環境維持・改善 約380万円支出

動物の健康検査や治療に使った医療機器の廃棄、ロバ・ポニーの爪切り、ボイラー管理、獣舎周りの修繕・改善、動物パドック周りの修繕・改善などに使用しました。  
夏は日陰などの対策、冬は暖をとるための対策、繁殖期には巣となる材料や小屋など、日々、動物たちに優しい環境・施設へと改善しております。

この優しい環境の中で動物たちはのびのびと生活し、時には新しい命も芽生えています。  
このように友の会の皆様の会費による支援が、経営に左右されない動物たちの飼育環境の維持・改善に役立っています。



緑いっぱいだ

### 野生動物の治療や飼育 約140万円支出

当園では野生動物が傷ついた時、その治療とリハビリを行い野生に返す取り組みを行っています。これは県から委託を受け(約70万円が県の補助)実施しているものですが、当園では持ち込まれる件数が多く年間約400件の傷ついた野生の鳥や動物たちが持ち込まれています。



これら傷病鳥獣の取り扱い業務(窓口対応、治療、治療薬、治療中のエサ、放野、放野できない動物の園内飼育)などで年間140万円以上の経費がかかります。

### 会員への情報郵送料 約70万円支出

クラブネットに登録していない方に年2～3回園情報を郵送しています。サポーターズニュース発行費用と園情報、収支報告書をおくる費用です。経費を節約するために同世帯の会員様には1通の情報提供とさせていただきました。